

令和2年第1回定例会一般質問

日 時 2月26日(水)、27日(木)、3月9日(月)、10日(火)
 いずれも午前10時から
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

発言順	議員名	質問日(予定)
1	吹春 やすたか	令和2年2月26日(水)
2	遠 藤 百合子	
3	沖 浦 あつし	
4	鈴 木 成 夫	
5	岸 田 正 義	
6	村 山 ひでき	
7	紀 由紀子	令和2年2月27日(木)
8	小 林 正 樹	
9	清 水 が く	
10	白 井 亨	
11	渡 辺 ふき子	
12	宮 下 誠	
13	水 谷 たかこ	令和2年3月9日(月)
14	板 倉 真 也	
15	坂 井 えつ子	
16	片 山 薫	
17	篠 原 ひろし	
18	斎 藤 康 夫	
19	た ゆ 久 貴	令和2年3月10日(火)
20	渡 辺 大 三	
21	田 頭 祐 子	
22	湯 沢 綾 子	
23	水 上 洋 志	

一般質問の通告について

発言順	2
-----	---

令和2年2月12日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

遠藤百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、<u>新型コロナウイルスによる感染症対策を国・東京都・他の自治体との連携で進め、感染拡大を抑えていく必要がある。</u></p> <p>(1)<u>初期症状の確認周知を</u></p> <p>(2)<u>現状の対応は</u></p> <p>(3)<u>隔離室のある対応可能な近隣病院の周知を</u></p> <p>(4)<u>感染症リテラシーの周知を</u></p>	
<p>2、<u>SDGsアジェンダの考え方に則った市の取組について</u></p> <p>(1)<u>各課のSDGsに関する対応は</u></p> <p>(2)<u>子どもたちへの対応として、教育委員会・健康課の対応を問う</u></p> <p>(3)<u>環境教育の必要性並びに施策に関し、現状認識と今後</u></p>	
<p>3、<u>子どもたちの遊び場である市内の砂場に関し、</u></p> <p><u>現状把握と必要処置の認識を問う</u></p>	

一般質問の通告について

発言順	3
-----	---

令和2年 2月12日
(西暦2020年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 沖浦 あつし

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 小学校の学区域について 2年前の平成30年(2018年)に同内容の質問をした。 いわゆる調整区域の令和2年度の実施に至らなかったことは残念であり、 現在どこまで検討が進んでいるのか、再度問う。 (1)保護者が小学校の学区域について思っていることは何か。 (2)調整区域として、どの地域の検討が必要であるかの抽出はできたか。 また、この2年間の検討状況は。 (3)令和3年度の実施に向けて、目指す目標は何か。 (4)そのためにこの1年間で何を準備し、何を行うべきか。</p>	
<p>2. 中学校の指定校変更要件緩和について 多摩26市の本人調べによると、多数の自治体の教育委員会が、部活動を理由 として中学校を選択できるとしているが、本市教育委員会は現状それを認め ていない。「働き方改革」「指導経験の有無」等の理由で、部活動設置状況 は各校によって様々である。これらの理由が仕方のない事情ならば、生徒に は中学入学時に、部活動を理由として「学校の選択肢」を与えるべきではな いか。 (1)合同部活動の可能性について (2)中学校は、その学区域に存在する小学校児童のクラブ活動状況などを把握 した上で、部活動に係る活動方針、適正な数の部活を設置しているか。 (3)部活動を理由として指定校変更できる他市の運用状況は。 (4)部活動を理由として指定校変更ができるようにするための本市の課題は。</p>	
<p>3. 昨年10月の台風19号風雨の教訓をどういかしているか (1)避難勧告の対象地域が一部訂正された件・ハザードマップとの関係は。 (2)防災行政無線について「聞こえにくかった」声へのその後の対応は。 (3)高齢者等要配慮者へ「いち早く知らせる」ための方策は。</p>	

一般質問の通告について

発言順

4

令和 2年 2月 12日
(西暦 2020年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 鈴木 成夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 「すべての人が自分らしく、安心して暮らせるまちづくり」 実現に向けたビジョンを問う	
(1) 「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市 条例」第9条にある「情報伝達」について、コミュニケーション手段 の普及啓発と利用拡大の支援を推進しないか	
(2) 市条例施行後の「好事例」を募集し、市民と地域で共有する取組を企 画しないか	
2. 「子どもが子どもらしく、のびのびと育つまちづくり」を 実現する具体的取組について	
(1) 一人一人の児童・生徒、保護者への支援体制の充実とは	
(2) 医療的ケアを必要とする子どもたちへの合理的配慮提供のための 検討と、「協議の場」設置に向けた検討の現状について	
(3) 障がい児保育や、医療的ケアが必要とする子どもたちのニーズを どのように捉えているのか	

一般質問の通告について

発言順

6

令和2年 2月 12日
(西暦2020)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

村山 ひでヨ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 市内リスクマネジメントについて</p> <p>(1) これまでの発生案件への対応の問題点</p> <p>(2) コンプライアンス基本方針</p> <p>(3) 今後の取りうるべき対応策は</p> <p>2. ごみ減量施策について</p> <p>(1) 食品ロスの削減に関する取組</p> <p>(2) リサイクル事業所への考え方</p>	

一般質問の通告について

発言順	7
-----	---

令和 2年 2月 / 2日
(西暦 2020)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、<u>多胎児(双子・三つ子等)家庭の支援を強化しないか</u> <u>2019年11月7日に厚生労働省で【11月児童虐待防止月間】「#助けて多胎児緊急記者会見」が行われ、全国が多胎児家庭の実態アンケート調査報告で壮絶な多胎児育児の実態が明らかになった。国でも、東京都でも令和2年度予算案に子育て支援として、多子・多胎児世帯支援も盛りこまれた。小金井市としても、多胎児家庭のSOSに応え、早急に補助金等を活用しながら、多胎児育児支援を強化すべきである。</u></p> <p>(1) <u>小金井市の0歳から3歳の多胎児のいる世帯数と多胎児育児支援の取組はどうか</u> (2) <u>多胎児育児支援の利用状況について</u> (3) <u>寄せられる相談や課題は何か</u> (4) <u>創設された東京都の「多胎児家庭支援事業」を活用しないか</u> (5) <u>保育の必要性認定基準に「多胎児を育てている家庭」を追加しないか</u> (6) <u>ベビーシッター利用支援事業を行わないか</u> (7) <u>孤立感を解消するため、タクシー利用料の助成を行わないか</u> (8) <u>行政が多胎妊産婦情報を把握した時点で、行政側から情報と具体的支援を届けないか(ファミリーサポート登録等)</u> (9) <u>母親等の孤立感を解消するため多胎児の育児経験者による相談支援事業を行わないか</u></p> <p>2、<u>産後ケア事業の進捗について</u> (1) <u>実施のスケジュール・内容はどうか</u> (2) <u>多胎児について、支援を拡充しないか</u> (3) <u>周知・啓発をどのように行なうか</u></p>	

一般質問の通告について

発言順

8

令和 2年2月13日
(西暦 2020)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 小林 正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>子ども食堂の更なる取組について</u></p> <p>子ども食堂のメリットとしては孤食を減らし、地域コミュニケーションの醸成も挙げられるが、厚生労働省が1月に発表した、2018年の国民健康・栄養調査の結果の中で、所得に応じて栄養バランスの取れた食生活ができていないことが注目されており、その対策の一つとしても重要な役割がある。バランスを欠いた食生活は、子どもの心身の健全な成長に支障を来し、高齢者には病気やけがのリスクを高めることにつながる。運営者側の負担を増やすことの無いよう、市として取組を強化する必要がある。</p> <p>(ア)「子ども食堂」の運営状況、課題と対応策について (イ)市の政策的位置付けについて (ウ)「地域子供の未来対応交付金」を積極的に活用しないか (エ)高齢者の孤食を防ぐ「おとな食堂」を検討しないか (オ)食育や農福連携の観点からも、地場野菜の活用ができないか</p>	
<p>2. <u>小中学校のICT環境の更なる充実について</u></p> <p>東京都は、国のGIGAスクール構想を受け、令和2年度「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」に取り組むことを報告。区市町村に向けたICT環境の整備費用で独自補助を行う。小金井市の小中学校においても更なる取組強化が求められる。</p> <p>(ア)タブレット端末の導入状況と利用状況について確認する (イ)課題と解決策について (ウ)東京都「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」への取組について</p>	

一般質問の通告について

発言順	9
-----	---

令和2年 2月 13日
(西暦 2020年)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

清水 かく

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. <u>武蔵小金井駅北口周辺のまちづくりについて</u> <u>(1) 大型店舗が閉店をしておよそ2年半が経過</u> <u>その後の、北口周辺の再開発などまちづくりの現状は</u> <u>(2) 北口側の小金井街道の拡幅が一部なされていないようだが、今後の計画は</u> <u>(3) 中央線高架下の小金井街道より東側の未利用地について</u> <u>JR東日本との協議の状況、地主との協議の状況、利用可能な検討</u></p> <p>2. <u>本市の地域防災の要となる消防団活動について</u> <u>(1) 新規団員募集にあたり、苦慮されていることは</u> <u>(募集時の町会等の地域とのつながり)</u> <u>(2) 火災のみならず、台風による水害・風害へのこれからの対応は</u> <u>(3) 商店会連合会との防災協定について (3の商店街振興に関連)</u></p> <p>3. <u>商店街振興について</u> <u>(1) 街を元気にするための商店会入会促進について</u> <u>(今期改定の産業振興プラン、商店街活性化条例)</u> <u>(2) 4月施行の東京都受動喫煙防止条例における市内個店対応について</u></p> <p>4. <u>玉川上水にかかる梶野町と緑町をつなぐ平右衛門橋について</u> <u>平右衛門橋から五日市街道をわたる横断歩道、道路横断の危険性について</u></p> <p>5. <u>市内小中学校の施設老朽化について</u> <u>緑中学校の施設の状況 (非常階段の非常時の対応やプールのフェンス)</u></p>	

一般質問の通告について

発言順

10

令和2年2月13日
(西暦2020年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

白井亨

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 多胎育児家庭への支援の必要性について話をしよう	
・ 妊娠時からの多胎育児に関する情報提供は、十分配慮され提供されているか	
・ 産後のケアについて、多胎児向けの支援はあるのか	
・ 多胎児（特に2歳頃まで）を連れての外出及び移動の課題とは	
・ ファミリーサポート利用における障壁とは	
・ 多胎育児者への移動および家事育児支援を具体的に検討・着手すべきではないか	
【質問意図】これまでクローズアップされることがなかった多胎育児支援について、東京都も新年度予算で支援メニューを用意している。その背景として、多胎育児家庭の家事・育児支援の必要性がようやく認識されてきたことが挙げられる。社会状況としてその必要性が高まっている現状を共有して、小金井市としての今後の取組方針を問いたい。	
2. ICT推進計画を策定し、自治体として最先端を目指せ	
・ これからの自治体に求められるICT活用について、市は何を根拠に進めるのか	
・ 必要なスキルを持った人材育成はできているか／戦略的なICT人材の確保・育成を	
・ なぜ、小金井市にはICT推進に関する計画が存在しないのか。早急に策定を	
・ 恵まれた市内の“理系リソース”を活用して、ICT活用最先端の自治体を目指せ	
【質問意図】小金井市内には工学部系の大学が2つとNICT（情報通信研究機構）もあり、地域資源は潤沢にあるが、自治体としてこれをうまく活用できていないのではないかと。併せて、今後の自治体経営にはオープンデータを含めたICT活用には先を見る目と人材育成が不可欠である。市の考えを問う。	
3. 西岡市長の今後4年間の「公約」とは何か	
・ 2019年12月市長選挙における、市長の公約とは何か	
【質問意図】何が公約（市民との約束）なのかを、現段階でまずはしっかり確認しておきたい。	

一般質問の通告について

発言順	11
-----	----

令和2年2月10日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺ふみ子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、一人暮らしの高齢者が小金井市で生涯安心して暮らせる施策づくりを誰もが歳を重ねると必ず経験する困りごとに対し、我が市の施策を問う</p> <ul style="list-style-type: none">① 物忘れや認知機能に心配が出てきたら<ul style="list-style-type: none">・ 日常の困りごと支援について・ 薬の適正な飲み方の支援について・ ごみの分別やごみ出し支援について② 住まいに困ったら<ul style="list-style-type: none">・ 住宅セーフティネットの早期確立を③ 生活費の管理に困ったら<ul style="list-style-type: none">・ 成年後見制度、任意後見人制度の利用について更なる周知を④ 人生の終い方について不安を抱えている方がいる<ul style="list-style-type: none">・ 相談窓口や支援施策について <p>2、医療的ケア児が安心して健やかに育つ環境づくりを愛知県みよし市を参考に、訪問看護体制等の充実を行わないか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 就学前教育、保育における支援について・ 就学児童生徒への支援について <p>3、不妊症・不育症治療への支援の拡充を東京都では本年より不育症の検査費用への助成が始まった</p> <ul style="list-style-type: none">・ 我が市における相談窓口の設置や、高額になる治療費への助成を行わないか	

一般質問の通告について

令和 2年 2月 14日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 宮下 誠

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、東京2020オリンピック・パラリンピックの大成功へ向けて</p> <p>(1) Wi-Fi環境を整備しないか。 ○インバウンドの旅行者を意識して、市の活性化のために実施をしないか。</p> <p>(2) 駅周辺を中心に伝統文化等のイベントを開催しないか。 ○昨年、ご答弁いただいた「この文化イベントに関してはぜひ取り組みたい」について、その後の取組状況を問う。</p> <p>(3) 学校給食に、世界の国々を意識したオリパラメニューを取り入れないか。 ○給食を通じてオリンピック・パラリンピック出場国に親しむことを目的に、世界各国の代表的な食事をモチーフにした「オリパラ給食」を実施しては。</p> <p>2、防災対策の拡充へ向けて</p> <p>(1) 災害時の電源確保対策をしないか。 ○停電時、自主防災組織等の活動に支障が生じないよう、地域の防災活動拠点における電源確保に対する取組を。</p> <p>(2) 「防災用品点検の日」を設けないか。 ○消火器の有無や点検、家具の転倒防止や防災用品の点検などを集中的に行う日とする。</p> <p>(3) スマホを使った災害対策ツールを導入しないか。 ○コミュニケーションアプリ大手企業の提供する自治体被災者支援BOT（災ボラ登録システム付き）や、熊本市の大学生が開発した無料の災害ボランティア受付アプリなど、スマホを使った災害対策ツールを導入してはどうか。</p> <p>(4) 災害時の医療対応は万全か。 ○市内の調剤薬局や医療問屋、ドラッグストア等との協定を結んでかどうか。 ○災害時の拠点病院について、全エリアを視野に再考すべきではないか。 ○災害時の対応として、緊急搬送の手段を含め、大病院との連携は整っているか。 ○発災時、開業医が拠点病院に参集することで、地域の医療機関が閉まることなど、よりリアルな事態を想定した防災訓練を求める。</p>	

一般質問の通告について

令和 2 年 2 月 18 日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 水谷 たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 「孤育て」から「共育ち」へ、妊娠中からの切れ目ない支援の充実を	
(1) 両親学級 (妊娠中) のあり方	
パートナーや家族 (祖母・祖父) も対象にしてはどうか	
(2) 両親学級 (出産後) の拡大	
(3) 市民活動団体との協力を	
【質問趣旨】	
働く母親が増え、出産後は地域とのつながりを持つ機会が持ちにくい。比較的妊娠中に地域の子育て支援リソースや子育て仲間とつながることで、孤立しない子育てのスタートを。	
2 地域で暮らし続けるために	
(1) 認知症の方や障がいのある方を支えるしくみは充分か	
権利擁護事業 (生活支援員等) や成年後見制度 (専門職・市民後見人等) の現状は	
(2) 成年後見人等の報酬補助制度のあり方は適切か	
(3) 関係者のネットワークづくりはできているか	
【質問趣旨】	
今後、成年後見等の制度を必要とする方は増加していくと考えられるが、地域でそれを支えるしくみや人材育成についてのビジョンはあるのか。市民にわかりやすい広報の工夫も必要ではないか。	

一般質問の通告について

平成 年 2 月 14 日
(西暦 2020)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 地震被害を最小限に抑える取り組みを行政の責任で	
(1) ライフライン設備等の耐震化促進を。	
(2) 感震ブレーカー購入費補助の創設および低所得世帯・高齢者世帯へ無料配布を。	
(3) 木造住宅耐震改修助成事業に木造アパートも対象に含めよ。	
(4) 福祉避難所(二次避難所)に避難生活に必要な備品・設備等の配置を。	
(5) 市指定避難所以外の公共施設での避難者受け入れ体制を問う。	
(6) 災害用備蓄の状況と方針を問う。	
(7) 緊急放送時に自動的にスイッチが入る緊急告知ラジコや個別受信機を土砂災害警戒区域・特別警戒区域の住民に無償貸与を。	
2. がん検診を無料に戻し、早期発見・早期治療の推進を	
(1) 2018年度の大腸がん検診受診率が前年度(2017年度)を下回ったが、原因をどのように分析しているか。	
(2) 前立腺がん検診を健診事業に加えよ。	
(3) 各種がん検診の対象年齢を引き下げ、早期発見・早期治療に結びつけよ。	

一般質問の通告について

発言順

15

2020年 2月 14日

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 土反井 えつ子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 気候危機対策はまったなし</p> <p>(1) 気候非常事態宣言について、“積極的に受け止めている”との市長発言があった。その後の検討状況や具体的な宣言時期は。</p> <p>(2) 2018年度版環境報告書によると、市公共施設からのCO2排出量が2017年度は基準年度比36,7%増加だったが、2018年度は12,7%増加と、増加率が減少している。要因分析と今後の対応は。</p> <p>(3) 環境に配慮した電力調達契約評価基準を、再生可能エネルギーに重点をおいたものに変更しよう。</p>	
<p>2 ツイッターの更なる活用を</p> <p>小金井市長2期目就任の挨拶では、“もっと市民の声を市政に反映してほしい”としていて、シティプロモーション基本方針を策定したことを示しながら、情報発信機能の強化が述べられている。しかしながら、ツイッターが活用しきれていないとの認識を持っているため、更なる活用を求める。</p> <p>(1) 基本方針に沿った情報発信が行われているのか。アカウントを持つ、各課の認識を問う。</p> <p>(2) 各課任せにならないフォロー体制は。</p>	
<p>3 はけと野川を壊す道路はいらない</p> <p>(1) 昨年末の市長選において、当該路線について「市民の望まない道路は作らせない」と、より踏み込んだ見解が示された。改めて、市長見解を問う。</p> <p>(2) 東京都は、2月21日～23日にかけてオープンハウスを行い、意見交換の場を4回設けている。市長が都に求めてきたことは果たされているのか。</p> <p>(3) 都市計画マスタープランのアンケートに合わせ行われる都市計画道路2路線の結果を、どのようにいかしていくのか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

一般質問の通告について

発言順

16

2020年 2月 14日

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 片山 かつる

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><u>1. 失業者への市の応援体制を強めよう。</u></p> <p>1) 失業した方への小金井市の支援体制はどのようなものがあるのか。年金、国民健康保険税、住民税の減免など。市HPでもっと情報を分かりやすく発信しないか。</p> <p>2) 滞納になった場合、納税課と他課での連携体制はどのようなものか。相談に来やすいような案内を出しているか。</p> <p>3) 狛江市など他自治体の状況を把握し、減免制度を作るなど、支援体制を強めよう。</p>	
<p><u>2. 産後ケアの前に産前サポートで楽しいお産に。</u></p> <p>1) お産の前の気持ちの良い生活やお産のポジティブなイメージづくりで、自分の力を十分に発揮してお産を迎えることで、産後ケアも楽になると考える。産前サポートの検討は。</p> <p>2) 近隣自治体の助産院との連携、研修、検討体制を。</p>	
<p><u>3. 子どもの権利を推進する制度を作る子どもオンブズパーソンを。</u></p> <p>1) 子どもオンブズパーソンは、相談救済だけではなく、子どもの権利全般を推進するよう、制度を変えていく役割を担っている。市はどのような認識を持っているのか。</p>	

一般質問の通告について

令和 2年 2月 14日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 庁舎・福祉会館の耐震システムを見直すべき。まだ間に合う。</p> <p>ア) 新庁舎と新福祉会館は複合施設で同時に設計し、同時に建設開始するにもかかわらず、耐震システムが異なる。合理的理由は見当たらない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耐震構造は地震の揺れがそのまま建物に伝わる。激しい揺れのために利用者の心身に与えるダメージは、計り知れない。それをどのように考えるのか。 2. また、建物そのものは倒壊しないが、什器備品の被害は免れない。機能回復までには時間がかかる。その間、福祉会館の機能はどのように確保するのか。 3. 免震構造は地震エネルギーをそのまま建物に伝えないシステムであり、耐震構造とは対極的な性能である。現在の時点では、一番優れた耐震システムといえる。だからこそ庁舎に取り入れている。新福祉会館を耐震構造とする理由を明らかにすべきである。 4. 超高層建築物には耐震と免震の組み合わせがあるが、それは建物の転倒を防止するものであり、中層の建築物をその一部で連結した事例は無いはずである。例があるなら示すべきである。 <p>イ) 新福祉会館の竣工を数か月早めるために、異例な建築物を決定したのであれば、その人間の名は残る。その建物が存在する50年以上耐えることはできるのか。</p> <p>ウ) 確認申請に要する期間はオール耐震、オール免震と耐震+免震ではどの程度異なるか検証しているのか。</p> <p>2. 都市計画マスタープラン見直しに当たって、税金を見据えた議論をすべき。</p> <p>ア) 都市計画の目的 都市計画法は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、広域の見地から定められる国土全体あるいは地方全体の開発計画や利用計画等の上位計画に沿った、当該都市の「土地利用」「都市施設」「市街地開発事業」に関する計画を総合的かつ一体的に定めることにより、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的としている。</p> <p>イ) 上位計画である基本構想と小金井市都市計画の現状</p> <p>ウ) 用途地域を変える条件が揃っている地域</p>	

一般質問の通告について

発言順	19
-----	----

令和 年 2 月 14 日
(西暦 2020)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) たやす貴

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1・国民健康保険税について (1) 国民健康保険税が高すぎるせいで市民生活が脅かされている。市は市民生活を守るための努力を行い、値上げではなく負担軽減こそすべきである。	
2・都市計画道路問題について (1) 住民を立ち退かせ自然も壊す都市計画道路を東京都は作ろうとしており問題である。市長の考えや対応を問う。	

一般質問の通告について

発言順

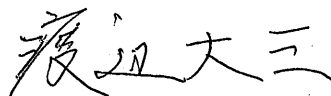
20

令和 2年 2月 14日
(西暦 2020)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)



発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 庁舎建設に関する諸問題について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 悲劇的に「ひろば」空間が少ない基本設計(案)について。(2) 基本設計(案)へのパブリックコメントについて。(3) 駅から新庁舎までの歩行者動線について。(4) 敷地周辺への信号機設置について。敷地西側の変則交差点について。(5) 地元商業の育成に資する「食」環境の構築について。(6) 本庁舎用地、第二庁舎北駐車場及び本町暫定庁舎用地について。 <p>2 時間外抑制や業務改革に向けてRPA推進体制の早期確立を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 小金井市におけるRPA(Robotic Process Automation)導入への取組状況は。(2) 市長自身が先頭に立つべきではないか。(3) 推進体制の早期確立を図るべき。 <p>3 市長と市議の金銭的癒着を断ち切る条例制定を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 平成29年の市議選の前、期間中、事後に、市長は、いつ、いくら、どの市議会議員(候補者含む)の後援会に現金を供与したのか。(2) 市長はこれまでのように、市議会議員(候補者含む)の後援会に現金等の利益供与を続けるとの意向なのか。(3) 市議には、市長提出案件を審議・議決する直接の職務権限がある。したがってそのような現金供与は、事実上の「賄賂」であると考えないのか。また、そのような現金供与のもとで健全な二元代表制が構築できると考えるのか。(4) 市長が市議会議員(候補者含む)個人のみならずその後援会にも現金等の利益供与を行うべきではないとの観点から、授受を自粛する努力義務を双方に課す条例を制定することに関する、市長の政治家としての見解を問う。	

一般質問の通告について

発言順

21

令和 2年 2月 14日
(西暦2020)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭初子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1.一人ひとりの命が大切に守られるまちへ。小金井市自殺対策計画をいかすために必要なことは</p> <p>(1) 小金井市における自殺対策には何が必要か</p> <p>①小金井市の自殺者の特徴は</p> <p>②これまでにやってきた自殺予防の取組と、その検証は</p> <p>(2) 制度のはざまに陥りやすい、子ども・若者への支援は</p> <p>①小金井市における20歳未満世代の状況は把握しているか</p> <p>②その対策はどう考えるか</p> <p>③切れ目のない支援対策・施策を行うために、子ども・若者課の創設を考えないか</p> <p>2. 認知症や生活困窮などに陥った時に。小金井は誰にでも優しいまちになっているか</p> <p>(1) 愛知県の高齢者置き去り事件から考える</p> <p>①小金井では身元不明者への対応は。通報があった場合の窓口、所管課は</p> <p>②公園等で、野宿者と思われる方への対応は。この1、2年での事例は</p> <p>(2) 生活保護申請について</p> <p>①小金井での申請の流れは</p> <p>②所管課の人員体制や他課・他機関との連携は</p> <p>③住まいの確保について</p>	

